（3）ロールプレイ演習①

演習①	在職中の方から相談を受けるケース（今田就次さん）

■転職もしくは社内キャリアチェンジを検討するロールプレイ演習方法の概要

転職もしくは社内キャリアチェンジを検討するキャリアコンサルティングを今田就次さんのケースで行います。このケースは、在職者からの相談場面を想定しています。各自の役割を決め、ジョブ・カード作成アドバイザー役、相談者役は、それぞれの説明書きを読み込んだうえで、演習を始めます。また、演習終了後、各自、「様式１キャリア・プランシート」の＜キャリアコンサルティング実施者の記入欄＞を記入して下さい。

◆演習の前提条件◆

今田就次氏（28 歳）は東都大学経済学部を卒業後、6 年間のフリーターを経て、IT 企業の企画営業職となり 6 ヶ月が経とうとしています。今回は、社内での職種転換とステップアップを考えています。自分なりにジョブ・カードを書き上げ、あなたのもとに相談に来ました。今回が初めてのキャリアコンサルティングです。
※キャリアコンサルティング実施時期：令和８年 4月の設定

ジョブ・カード作成アドバイザー役用 説明書き

①相談者のプロフィール

○今田就次、28 歳、男性
○大学卒業後、6 年間のフリーターを経て、6 ヶ月間 IT 企業の企画営業職
○実直そうではあるが、少し大人しい印象。

②キャリアコンサルティングのポイント

社内での職種転換とステップアップを望む在職者に対し、職務経歴の棚卸しを中心にこれまでの経験を振返り、習得してきた知識や技能のみならず、在職者がこれまで気づかずにいた知識や技能を高め、活用できる意識づけを行い、前向きになるようキャリアコンサルティングを進めます。初回面談なので、今田さんが緊張しないで自由に話せるよう信頼関係を築きましょう。傾聴することがとても大切になりますので、「うなずき」などの技法を使いましょう。

（説明書きここまで）

相談者役用 説明書き

①相談者のプロフィール

○今田就次、28 歳、男性

○大学卒業後、フリーターを経て、令和7 年１０月からＩＴ企業の企画営業職

○実直そうではあるが、少し大人しい印象。

＊詳細はジョブ・カードの記載内容を参照

②性格・興味・関心、気持ち等

○潔癖な性格で、責任感が強い。

○こだわりが強いタイプで、融通が利かないところがあり、周囲と協調できず軋轢が生じる時がある。

○人間より機械、数字に関心があり、良好な人間関係を築くことに苦手意識がある。

○精密機械の組み立てのような精度の高い仕事への関心が強い。

○給料のほとんどを趣味のパソコン周辺機器やゲームソフトの購入につぎ込む生活を送っている。

○企画営業職では顧客の感情に触れることが多く、自分には向いていないと感じている。

○新規営業ノルマも厳しいため、営業成果が上げられず、仕事を終えても慢性的にプレッシャーを感じている。

○同居する両親にも仕事が順調に進まないため心配をかけていて、申し訳ないという気持ちがある。

○現在、契約社員のため、正社員登用制度を活用して正社員になることを目標にしている。社内では中堅社員といえる年齢が間近に迫り、なんとか現状を変えたいと思っている。

○就職活動について

・コンピューターシステム会社を中心に 20 社程度受け、1 社漸く採用になった。

・システムエンジニアを希望していたが、会社からは知識を深めるためには、まずは企画営業職からだと言われた。

・それに対する本人の気持ちとしては、「僕は未経験者だし、話が下手だから、人事の人は僕のことを軽く扱ったんだと思う。勤務後、異動願いを出したが人事は僕の気持ちなんか聞こうともしなかったことに嫌気がさした。就職した時から自分には向かない嫌な仕事を押し付けられてしまったように感じた。半年が経ち、すでにシステムエンジニアになるには今の年齢では出遅れたが、まだ諦めきれない。」

（説明書きここまで）